

平成28年度第2回東成区区政会議 子ども・教育部会 会議録

1 開催日時 平成28年8月30日（火） 19時から20時30分まで

2 開催場所 東成区役所 3階301会議室

3 出席者の氏名

【委員】

田中 英夫（子ども・教育部会議長）、濱田 麗史（子ども・教育部会副議長）、
大内 久也、小谷 早苗、小林 智恵子、末光 京子、杉原 博、三枝 直美

【東成区役所】

森本 万喜子（東成区長）、木口 剛一（東成区副区長）、足立 幸彦（総務課
長）、中須賀 孝（総合企画担当課長）、鎌塚 隆男（まちづくり担当課長）、
中川 正己（保健福祉課長）、西山 明子（児童・保健担当課長）、井上 徳久
（まちづくり・教育支援担当課長代理）、植田 浩史（市民協働課長代理）、
花村 朋子（保健福祉課長代理）、大野 孝文（児童・保健担当課長代理）

4 委員に意見を求めた事項

部会テーマ及び平成29年度予算・運営方針の策定に向けての意見交換

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

○中須賀課長 皆様、本日はお忙しい中、東成区区政会議子ども・教育部会にご出席をいただきまして、ありがとうございます。私は進行を務めさせていただきます、東成区役所総合企画担当課長の中須賀でございます。よろしく申し上げます。

それでは、早速始めてまいりたいと思います。着席にて進めさせていただきます。

まず、本日の開催状況でございますが、委員13名中、8名のご出席をいただいているため、会が有効に成立している旨、ご報告申し上げます。

次に、本部会の公開についてでございますが、区政会議に準じて公開となっております。議事録や写真等についてもホームページ等で公開して行く予定ですので、その点、ご理解のほどお願いいたします。

もう1点、お願いでございますが、携帯電話、スマートフォンにつきましては電源をお切りいただくか、マナーモードにさせていただきますようお願いいたします。

それでは、本日の会議資料の説明をさせていただきます。ホッチキス止めをした資料を机上に配付させていただいております。次第と資料1、配席図、資料2、委員名簿、そして3ページから参考資料を添付しております。最終が23ページとなっております。加えて資料の右上に要回収と記載しております。各中学校の概要の資料をお配りしております。資料のない方、不足している方おられましたら、手を挙げていただきますようお願いいたします。よろしいですか。

それでは、最初に区長の森本よりご挨拶をさせていただきます。

○森本区長　皆さん、こんばんは。お忙しいところお集まりいただきまして、本当ありがとうございます。第2回目の区政会議の子ども・教育部会となります。本部会では何回も申し上げて申し訳ありませんが、テーマに合わせまして皆様方がご忌憚ない意見を交換いただいて、区のほうにご提案をいただければありがたいなと思っています。

部会のテーマでございます、体力づくりはちょうどオリンピックもありまして、子どもたちも大人もみんな、関心が高くなっているんじゃないかなという思いもありますので、何かまたご意見をいただけたらと思います。予算のほうは、相変わらずなかなか厳しいものがございますが、皆様方のご意見ができるだけ反映できますようにいろいろ工夫をしながら、やっていきたいと思っておりますのでよろしくをお願いいたします。

それから先ほど課長のほうから資料のこと少し申し上げましたが、私のほうから先

に2点、ご説明を申し上げたいと思います。参考資料の6、18ページのところに子どもの生活に関する実態調査の実施についてというものがございます。これは前の部会の際に、確かこの調査の内容について公表されるのかなというご質問をいただきました。実はまだ府のほうで調査が済んでいないというふうに聞いておりますし、市のほうも例えば区のほうで、子どもの調査の実態をよく知っているような機関とかに、区のほうで調査をしまして集めるようにということで、それはまだ進んでおりません。ここに18ページ以下にどの項目かというのは公表されておりますので、例えば、起床時間でございますとか、20ページあたり見ていただきますと、生活習慣に関するものでありますとか、それから相談相手がいるかとか、それから21ページには保護者向け、それからその次には幼稚園向けとかがございますので、また、後になって見ていただいたらどうかと思います。また、調査がはっきりしてまいりましたら、ご報告をさせていただきますたいと思います。

今日は本当にお忙しい中、来ていただいておりますので、できるだけ多くの意見を出していただきまして、区のほうに言っていただきますと助かりますので、どうぞよろしくお願いいいたします。

○中須賀課長　それでは、田中部会議長並びに濱田副議長に今後の議事運営をお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

○田中議長　皆さん、こんばんは。部会議長の田中です。どうぞよろしくお願いたします。ちょっと座って失礼いたします。

ただ今より、平成28年度の第2回目子ども・教育部会の議事に入ります。本日の議題は部会テーマ及び平成29年度予算・運営方針の策定に向けて意見交換を予定しております。この部会では昨年度から子育てネットワークと青少年健全育成並びに体力づくりをテーマに議論を行ってまいりました。

本日は部会といたしまして意見を取りまとめ、区長へ提案や提言を行いたいと思っております。短い時間にできるだけ多くの委員の皆さんにご意見をお聞きしたいと思

いますので、円滑な進行にご協力のほどお願いいたします。また、前向きなご意見をいただき、実りのある有意義な部会にさせていただきたいとも思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

参考資料の配付がありましたので、区役所より説明をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

○中須賀課長 総合企画担当課長の中須賀でございます。私のほうから参考資料1について、説明させていただきます。

3ページをご覧くださいまして、これまでの部会意見の概要ですが、27年度の第1回子ども・教育部会で、この部会では子育てネットワークと青少年健全育成並びに体力づくりをテーマとして、議論をして行く、考えて行くとしたところでございます。

4ページにまいりまして、昨年8月開催の27年度第2回の部会では、主に子どもたちの体力づくりについて、各学校にアスリートに来てもらって見本になるように教えてもらったらといったご意見、あるいは安心して遊べる場所の提供。また、地域でのサッカーの取組みのご紹介などがございました。

5ページ、27年度第3回の部会では、読書の勧めについてのご意見がございました。めくっていただきまして6ページ、本年6月に開催いたしました、28年度の第1回部会、前回の部会ですね。そこでは盛りだくさんのご意見をいただいております。「ひがしなりっ子 すくすく・つながるクラブ」については入会者は主任児童委員とつながって、相談しやすい関係ではあるが、一般の住民といかにつながりを作っていくのが課題であるとか、つながりをつくろうと思わない人にどうやって参加してもらうのが課題である。また、業績目標の人数を増やすというだけではなくて、そこからどんな形のいいところに結びつけていくのが大事といったご意見がございました。

体力づくりのほうでは、体育系大学の講師やアスリートを呼んで、子どもたちに教えてもらってはどうかといったご意見。あるいは公園でのボール遊びができないことや外遊びをしないことへの危惧。また、それらの改善に向けたご提案をいただいたと

ころです。

携帯電話やスマートフォンについては、他の区の実践事例を参考にし、東成区でも活用してもらいたい。また、子どもたちを交えて話し合いみたいな感じでやったほうが、すごく身につくと思うといったご意見の他、記載のとおりさまざまなご意見をいただいたところです。

これまでの経過については以上でございます。

○西山課長　　続きまして、参考資料②を説明させていただきます。児童・保健担当課長の西山です。よろしくお願いします。

私のほうからは子育て家庭と地域のつながりづくりを支援する「ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ」について説明をさせていただきます。

このつながるクラブにつきましては、大阪府の「まいど子どもカード」との連携や地元商店街等の店舗の協賛によりまして、お店で割引等の利便性を付加するなど昨年7月よりリニューアルをしました。参考資料2にありますのが、昨年度リニューアルを記念しまして、就学前の親子が参加できる「ひがしなりっ子すくすく・つながるうんどうかい」を開催をしまして、おかげさまで参加した皆様から非常に、ご好評いただきました。今年度も資料のとおり、9月14日に第2回目の運動会を開催する予定となっております。

今年度はこの資料の一番下になりますけれども、下のほうにありますとおり、日ごろよりつながるクラブにご協力いただいております、東成区商店街連盟連合会にさらなるご協力をいただいております。東成区商店街連盟連合会は、今年結成70周年を迎えられます。その記念事業の一環として、子育て支援にご支援をいただけるというありがたいお話をお聞きしました。つながるうんどうかいにおきましても、参加された親子に商店街で利用できる割引券を配布いただくなど、つながるクラブカードをお持ちの方には2枚配布していただけるとか、つながるクラブへの加入促進にも応援をいただけることになっていきます。もちろん商店街にとりましても、これを機に子育て層

といった新たな顧客層の開拓、ひいては商店街の活性化につながればという期待もあるかと思います。このように双方にとって、効果があるような取組みを進めさせていければと考えております。前回、濱田委員より、つながるクラブの利便性の向上といっても、協賛店舗での利用が区役所目線だけで店舗等にとって支障がないようにとの貴重なご指摘をいただきました。ご意見を踏まえまして、区役所としましても区が進める子育て支援施策が地元商店街をはじめ、つながるクラブや子育てを支援して下さる方、双方にとって良いものになるように推進してまいりたいと考えております。

また、三枝委員よりありました、つながるクラブの目的である、子育て家庭と地域のつながりが広まるような工夫、あるいはつながりをつくろうと思わない人に参加してもらえるような工夫も重要と考えております。そのためには継続した見守り、働きかけが大切かと思えます。一つとして必要な子育て情報が子育て家庭に届けられるということも大切な要素かと思えます。子育て家庭からアクセスしないと得られないという方向だけではなくて、必要な情報が届くということも必要かと思えます。つながるクラブがまいど子どもカードと連携することによりまして、ご本人のご希望により大阪府の子育て情報がメール配信されることになっております。今後は東成区の子育て情報を積極的に届けられる工夫も検討したいと考えています。

また、子どもが生まれてから一気に大変になって、負担感が増すといった場合も考えられます。そのためにできるだけ早くからつながりを持つことも大切かと考えておりまして、昨年7月のリニューアルを機に対象者を就学前の子どもと保護者だけでなく、妊婦にも広げさせていただいたところです。

もちろんこれらの取組みで十分とは考えておりませんので、今後ともつながるクラブの仕組みなどを活かして、子育て家庭と地域のつながりが広がって行く工夫を検討し、充実してまいりたいと考えておりますので、委員の皆様からの貴重なご意見を、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。以上です。

○中須賀課長　　続きまして、参考資料の③、区民アンケートの結果について、説明

をさせていただきます。総合企画担当課長中須賀です。

この区民アンケートは今年度3回予定しております。第1回目の速報が出ましたので、この部会に関係します項目についてお尋ねしておりましたので、その結果について速報版ですけれども、ご報告させていただきます。調査期間は7月29日から8月9日。住民基本台帳から無作為抽出しました区民の方、1,500人を対象に郵送により行いました。519名の方から回答を得まして、その結果を速報版としてお示ししたものです。

一つは、子どもの体力向上について、現在最も課題として感じていることはどれですかという質問で、最も多かった回答が、ちょっと字が小さいですけど、⑤下のほうにございます、テレビやゲーム等の視聴時間が長い子どもがいる。次に多かったのが、⑥自由に遊べる遊び場が少ないという結果でございました。ただ、これは速報値でして、細かな部分をこれから分析いたしますので、例えば、子育て層はどう答えておられるか。どういった年代層でこう答えておられるのかなど、詳細はちょっと後日ということになってございます。

めくっていただきまして、二つ目の質問でございます。これは部会でもご意見をいただいております、体力向上やスポーツに興味を持つきっかけとして、体育学部等の学生やアスリートを招き、競技について学ぶ取組みを行う場合、どのような場に誘致するのがよいと思いますかという問いに対しまして、一番多かったのが学校の授業。次いで学校の部活動でイベントの開催、地域でのクラブ活動という順になっておりました。こちらも速報値でございますので、詳細分につきましては次回と思っておりますが、取り急ぎご報告させていただきました。

○鎌塚課長　　続きまして、11ページでございます。参考資料④をご覧くださいませでしょうか。市民協働課まちづくり担当課長の鎌塚でございます。どうぞよろしくお願いたします。

ただいま区民アンケートの討議の中でもちょっと触れておられてましたように、ア

スリートを招き、競技について学ぶ取組みということで、大阪市の場合、実際に授業をやっております、トップアスリートによる「夢・授業」というものがあり、経済戦略局のほうの事業でございます。これはトップアスリートを講師に招きまして、夢を持つことの大切さを語っていただき、実技指導を行っていただくというものでございます。トップアスリートとの交流を通じまして、夢をはぐくみ、スポーツへの興味・関心を喚起することを目的として実施されております。先日セレッソ大阪でございますとか大阪エヴェッサについても、大阪市との間で包括連携協定を結びまして夢授業に協力していただいております。

区内の小中学校におけます、活用例ということなんですけれども、全校への聞き取りは出来ていません、あくまで抜粋ということなんですけれども、神路小学校につきましては、女子ソフトボール選手による講話、実技指導。大成小学校につきましては、元水泳選手の千葉すずさんに来ていただいて、講話、実技指導していただく。以前にはDNAの萬谷投手であるとか、シンクロ選手に学校に来てもらったことがあるというふうにお聞きをしております。中本小学校につきましては、11月なんですけれども、陸上選手を招聘予定されておられると。昨年度は廃園になりましたけれども、中本幼稚園と合同でチアリーダー、ダンスについて来ていただいたということでございます。東中本小学校につきましては、11月にセレッソの選手に来ていただく予定。選手名はちょっと未定ということでございます。

中学校のほうなんですけれども、玉津中学校につきましては11月に陸上選手に来ていただく予定と。これは土曜授業にほうで講話をしていただいて、これは授業というよりも陸上部、部活動のほうで実技指導を行っていただく予定にしております。昨年度はバドミントン選手、一昨年度はバレーボール選手を招聘したってということでございます。東陽中学校なんですけれども、今年度の予定ではないんですけれども、昨年度セレッソ選手に来てもらったと。これも土曜授業で講話をしてもらって、部活動サッカー部のほうで実技指導してもらった。

この制度なんですけれども、いずれも選手名、誰に来てくださいというふうな指名とか指定、ちょっとできませんでして。学校が希望される競技種目と大体の日程、開催時期、そういったものを経済戦略局に伝えて、先方の都合と合致すれば実施するというような、そういう状況でございますので、学校の希望等には合わなかったり、招聘者との事前調整で日程が取れずに実施できない場合というのものもあるんですけれども、区からは校長会などを通じまして、こういった制度を存分に活用していただくように調整を進めてまいりたいというふうに考えております。そういった観点からも小中学校の校長とも意見交換会、今後とも大事にしていきたいというふうに考えておる次第でございます。めくっていただいたところに、今申し上げました、トップアスリート夢授業の制度がわかるものということで、受講された児童、生徒の感想であるとか、学校の感想であるとか、目的・仕組みがわかるもの議論の材料にさせていただきたいというふうに添付をさせていただいた次第でございます。

それと、お手元のほうに資料の配付をさせていただいてないんですけれども、同じく体力づくりの関係で公園でのボール遊びについてということで、前回の部会でご意見がございました。7月に開かれました区政会議の場でも申し上げたことがあるんですけれども、建設局公園緑化部が施行実施しております的な、そのときお話をさせていただいたかと思えます。最後、ちょっとまとめとして申し上げますと、いろいろな苦情が、危険であるとか、うるさいとかそういった苦情が寄せられる中で、原則としては公園のボール遊びは禁止されておったと。一方で子どもたちが気軽にボール遊びができる場所がなくなってきておって、ボール遊びさせてあげたいというふうな要望も一方では寄せられておったんで、昨年度27年度なんですけれども、東淀川区のほうの13の公園でボール遊びができる公園について試行実施が行われておりました。この28年度については、その試行実施を他の地区に広げていこうという動きが現在ございます。具体的にはフェンスがある、ない。それと周辺の道路がすぐ近くにあるのかどうか、公園内の遊戯施設の距離とか、いろいろなハード要件はあるんですけれども

も、そういったハード要件を満たしている公園の中から、ボール遊びができるような公園を選定して試行実施の拡大を図っていきたいというふうなことでございます。ですから、これまで原則禁止であったものが、いろいろな要望がある中で、一歩ちょっと前進したのかなというふうに考えておる次第でございます。これにつきましては、また詳しい状況がわかりましたら、また皆さん方にご報告させていただきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

それでは、ちょっと資料に戻っていただきまして、参考資料⑤のほうでございます。今年度の国の事業ということで、スマートフォンの学習会を行いますということで、ご説明をさせていただきました。いろいろ皆さん方からご意見をいただいた中で、他のいろんな取組み事例とか、いろいろな材料ということでできないかということで、付けさせていただいておりますのが参考資料⑤、14ページなんですけれども。これはトークが昨年度、今年の3月なんですけれども、3月に東成区民センターで、はぐくみネットであるとか、教育コミュニティ関係の研修の時に実施したものでございます。その時に来ていただいた講師の方が、ここに書いております、篠原嘉一さんとおっしゃいまして、この方に今年度については講師をやっていただきたいなというふうに考えておる次第です。

具体的には主な内容といたしましては、インターネットやスマートフォンとつき合うためのというテーマで、スマホ、携帯、パソコン、音楽プレーヤ、いろいろなものでインターネットでつながって行くので、そういった危機が増えているということと、インターネット接続のゲームトラブルが増えてきていると。例えば、ゲームアプリで高額課金されたり、SNS、ソーシャルネットワークサービスでの書き込みの問題であるとか、出会い系サイトの問題であるとか、ワンクリック制という問題であるとか、いろいろそんなトラブルが増えているということ。個人情報といったん洩れて拡散してしまうと、なかなか消すことができないと。ネットでの利用にだまされたこととか、後、リスクを知った上で正しく設定して安全に使いましょうという、そういったこと

の内容でやっていただけると。保護者向けに追加している内容といたしまして「子どもたちのネットトラブルを防ぐために大人ができること」そういうテーマで、今ネット利用から発生した実例をもとに考えて行くとか、ネット被害を未然に防ぐフィルタリング利用制限機能を知って正しく使っていただこうと。子どもたちと日ごろから話をして、それぞれの家庭のルールを決めていこうと。そういった内容の研修をやっていただこうというふうに考えておる次第でございます。

15ページのほうには、「OSAKAスマホサミット」ということで、これは大阪府のプログラムなんですけれども、そういった形の研修が北区民センターで行われたと。前回ちょっと小谷委員からご紹介いただきました、関西スマホサミットというようにことで16ページのほうに、これちょっと大阪市PTA協議会のホームページのほうから、ちょっと抜かせていただいたものでございますけれども、紹介をさせていただいています。その時に講師をされた方が、先ほど15ページに戻りますけれども、下のほうに大阪府のほうもやっておられるんですけれども、構成員（座長）ということで、兵庫県立大学准教授 竹内和雄先生ということで、この方を講師としていいよということで小谷委員からもお話をいただいたんですけれども、本年度につきましては、今年度は篠原嘉一さんでやらせていただきたいと思いますので、どうかよろしく願いをいたします。

それと、めくっていただいて17ページなんですけれども、旭区のほうではこれちょっと区内に旭高校という高校があるんですけれども、そこでLINEの関係のいろいろな問題、そういったことを高校生が中心となりながら考えて行く。それと高校生が中心となってやりながら、2回目の時には、これまた中学生の有志も一緒になって問題点を議論していこうと。ですから学生自身がスマホ、LINEの問題点、いろんなことを議論しながら学習して行く。こういった取組みをなされているということで、ちょっとご紹介ということで、資料のほう付けさせていただきました。

私のほうからは以上でございます。

○田中議長　それでは、ただ今区役所より参考資料についての説明がございました。これらの資料も参考にいたしまして、部会として意見をまとめていきたいと思えます。これまでの意見を再度発言していただきましても、より掘り下げていただきましても、加えていただきましても構いません。

まず、初めに子育てネットワークについて話し合い、次に子どもの体力づくりについて話し合いたいと思えます。それでは子育てネットワークについてご意見をお願いいたしたいと思えます。子育てネットは西山課長さんのほうから状況報告していただきましたが、前回、三枝さん、納得していただきましたか。

○三枝委員　昨年度に開かれたときは、何人くらいの参加者がいたんでしょうか。

○西山課長　約150組ですので、300人くらいは参加していただきました。

○三枝委員　このカードを提示することが、参加の条件なんですか。

○西山課長　条件はないので、どなたでも参加していただくということになっています。ただ、もちろんカードを持って来ていただいたら、そこでどなたかわかりますので、持っていらっしゃる方は持って来てくださいということにさせていただきました。

○三枝委員　つながる運動会の時でもいいですし、どんな形でもいいですけど、アンケートみたいなのは取っていらっしゃいますか。

○西山課長　はい、参加していただいた方にですね。今回の催しが、例えば楽しかったとか役に立ったかというようなアンケートを取っています。

○三枝委員　その時にカードを持ったことで、何か良かったことがありますかの項目がありましたが、今回はなかったと思えますので。

○西山課長　前回もご意見いただきましたね。目標設定の視点についてご指摘していただきましたので、はい、ご意見をいただいて検討したいと思えます。

○三枝委員　いつでも思うんですけれど、確かにそうなんですけれども。子育てのイベントが幾つかあるようなんですけれども、子育て世代の方に限られますよね。そうするとやっぱり他の世代とつながるといのは、そのイベントでは不可能というか、実

現はできないんですけれども。今後いろんな世代が集まるようなこの世代を中心としたイベントで、そこにもいろんな世代が集まるようなイベントも考えていっていただけたら、各世代がつながるような形になるかと思っておりますけれども。

○西山課長 ありがとうございます。世代間交流ですね。

○三枝委員 そうですね。本当は各地域、地域でやっていけたら、もっと密な関係ができるのかもしれませんが。果たして子育て世代が地域のものとなつなごうとしているのかということも、ちょっとわからないところです。そんな中でわざわざそういう場面を地域っていう狭いくくりで作ってもとは考えたりしているんですけれども。本来は言うたら中本地域なら中本地域という形でやっていけたら、もうちょっと変わってくるかなとは思ってはいるんですけれども。

○西山課長 今年はできるだけ身近なところでということで、今までは区民センターで開催していたんですけれども、深江の地域、深江小学校に協力をいただきまして、深江地域で子育てイベントをさせていただいて、かなり地元の方以外の方も、もちろん来ていただいているんですけれども、参加していただけたと思います。今後、そういう視点で子育て同志だけじゃなくて、世代間交流という視点も重要かと思っておりますので、またそういう踏み込むというか、さまざまな場面を作れたらなど、今ご意見をいただいております。

○三枝委員 どうしても私らが、私らがつてどこまでが私らがかかわらないんですけれども、育った時はおばあちゃんがおったり、近所のおばちゃんから怒られたり、でも最近はちょっと口を出すこともはばかれる環境かなと思うので、もうちょっとあそこんちのあの子って顔がつながれば、声かけることも簡単になるのかなと思っておりますけど。

○西山課長 そうですね。ありがとうございます。

○三枝委員 何か言ってください。皆さん。

○末光委員 先ほど三枝さんからアンケートのお話があったんですけれども、これま

だ9月14日って来月ですよ。今、アンケートの案ってできてるんじゃないですか。見せていただけたら。意見も出るのかなと思ったんですけど。

○大野課長代理　　まだ、アンケートの案というところまでは言ってないんですけども、中身的には子育て安心ブックという子育て支援につながる情報冊子的なものを、今、作らせていただきまして、母子手帳の交付時とか相談時に必要に応じて配布をさせていただいている冊子なんですけど、要はこういった子育て支援に対するこういう冊子類とか、チラシ類が本当に満足していただける内容なのか、本当に必要とされてるのかというところのアンケートなんです。ちょっと中身に今回は加えさせていただいて、有効度を図らせていただこうとは思っております。

○末光委員　　せっかくなんで、私たちはここに参加しているんであれば現物を見たいんですよ。何とかカード。どんなカードなんか見たことがないし、どんな人が持つてはるのか。どんなもんなのか見たことないのに架空の空中戦になるんじゃないかなと思うんですけど。

○森本区長　　過去の会議とかですけども、今年になってからの区政会議ではお配りしてないかもしれません。ちょっとパンフレットをお持ちします。去年のアンケートだったらあるのかな。東成の子育て安心ブックを見ていただいたら。

○西山課長　　子育てを応援していただく応援隊事業というのがありまして、例えば、実際に子育て中の方でも子育てするだけじゃなくって、子育てを応援するというところで、子育てサークルで読み聞かせをしたりとか、そういうところで子育てサービスができるような講座を実施しているんですけども。そこに参加していただいた方で、こういった子育て情報誌について、編集を協力していただける方はご協力いただいて、そういう意味では編集会議の中でそういう当事者ですね。保護者の方が入っていただいて、こういう内容がいいんじゃないかとか、例えばこのサイズにしても持ち歩きができてハンドバックに入るようなサイズがいいんじゃないかということで、ご意見をいただきながら作った本です。

○三枝委員　　今どきの若いお母さん方ってこういう紙ベースのものではなくって、ネットで検索している。だから、こういうのは意外と邪魔なのかなって思っていたんですが、本人たちはここでも必要と認められたということですか。

○西山課長　　はい。

○森本区長　　フェイスブックも配信している話もお願いします。

○西山課長　　こちらのフェイスブックもホームページもあるんですけども、子育て情報コーナーもありますし、そこでフェイスブックという形での支援もさせていただいたりもしているんですけども、この冊子は冊子で年代ごとに、必ず必要な情報であろうということをコンパクトにまとめたものになっていると思いますので、もちろん利用は、これからもどんな形態が一番活用されるのかというのは調べていって、そういう情報発信をしなくてはいけないなと思っているので、その使う人がその都度その都度アクセスするだけじゃなくて、必要なことが全てコンパクトにまとめられている、そういう情報紙も一つは有効かなというふうに考えています。

○三枝委員　　電気が使えないような災害時、そういう災害時に必要なことが書いてあるのであれば、そう意味でいいかもしれないですね。

○西山課長　　そうですね。

○末光委員　　区民の方、皆さんお持ちなんですか。

○西山課長　　出生届を出しに来ていただいた方にはお渡しをさせていただいてますし、相談のときに必要であれば必要な方にお渡しさせていただいたりしています。

○田中議長　　コピーかなんかで見たことはあるけど、実物は初めて。コピーではね。

○末光委員　　ということは、皆さんがこれ持っているというわけでもないんですよ。多分。

○田中議長　　母子手帳を持っている方は持っているってことでしょ。

○大野課長代理　　そうですね。はいはい。

○末光委員　　子どものときにもらって、何十年も置いとくやろか。

○濱田副議長　年齢層が低いからね。何十年もいないわね。

○杖密委員　毎年変わってくるんですか。

○濱田副議長　だから毎年というか、始まってこういうことやっているところからね。

○末光委員　始まったところですか。

○濱田副議長　それは、今、あなたが仮に去年生まれたとかやったらあるんやけれど、30年も前やったらないんですよ。これならいいんじゃないかということでやってはりますからね。

○森本区長　西山さん、3年目やったけ、4年目やったけ。

○西山課長　3年ですね。

○濱田副議長　これは9月14日にやるのに申込みの受け付けは明日で終わりですかね。一応はね。今現在どのくらいあるんですか。

○西山課長　今現在、区役所もそうですけれども、子育てプラザとか子育て支援センターとかで受け付けしていただいているので、まだちょっと集約はできていないんですけれど。

○濱田副議長　だから、今日こういう会議あるんやから電話でも、本当は確認しといて、大体こういう行事やるときはね。ええなあ思ったら初日か2日目で満席になるくらいいろいろと集まるんよね。それがぱらぱらであって、少ない人数やったらね。なかなかできないんでね。本当は今日に合わせて、人数は確認すべきだったんじゃないかと思うね。子育て子育てって言うても、年齢の幅がどの辺までをこの対象にするのかということもやっぱりつかんで、1年、1年これから年齢は上がって行くでしょ。だから新しいのは補充できるんかどうかっていうのもね。考えていかんと。今年は何人、来年はその上が切れて下が上がってくるというようなことで、やっぱり人の把握ちゅうのは人集めようと思うと、よっぽど一生懸命やらんと。私とこ体育でハイキングやるんですけれどね。区民だより出た日だけですわ。集まってくるのは。後か

ら追加ということはほとんどないですね。特に締切りの日にちが長ければ長いほど後で増えるんかというとは全然増えないですね。それと同じで大体これ15日から受け付けられとるから、明日の締切りやったら少なくとも先週末くらいで、一遍、確認してもらったらほうが良かったんじゃないかなと。そのほうが心配いらんからね。開いてみてわからないんだったらね。

○西山課長　それは、はい。大体の数は随時ですけど、正確な数ではないんですけども、見込みとして100組は。ですので200人くらい以上は参加していただけるかなと思っています。

○濱田副議長　セットにして親子にセットにして200で。

○西山課長　100組です。

○田中議長　人数に換算したら、その倍ですね。

○濱田副議長　それと、乳幼児と保護者ということになっているって、なお幅が狭いと思うんだよね。

○杉原委員　ここにプラスアルファおじいちゃん、おばあちゃんは入れられるのが一番いい。

○濱田副議長　その辺もこれ一遍やってみてね。広げていったらいい。

○田中議長　それは幼稚園とか保育園の運動会はね、おじいちゃん、おばあちゃんばかりね。

○末光委員　平日の昼間ですね。

○濱田副議長　午前中やからね。

○末光委員　午前中は行かれへんからね。

○田中議長　専業主婦やないと無理やな。

○濱田副議長　そやけど区民センターの大ホールやったらね。200人も入ったら大分にぎやかです。

○西山課長　今回こういう運動会という形でもあるんですけども、幾つかイベン

トをさせていただいてまして、例えば11月11日に子育てフォーラム。毎年開催しているんですけど、区民センターが遊び場になるんです。そのときに、主任児童委員さんにご協力いただいているんですけども。地域の団体さんということで、遊びを一緒にしていただいたりとかしておりますので、先ほど三枝委員がおっしゃっていたような、少しそういう世代間の交流ではないですけども、そういう場にもなっているかなとは思ったりもしていますし、もちろんそれで十分かなということではないと思いますけれども、そういう場もございます。

○濱田副議長　それからこういう人集めするというのは大変やからね。みんな寄ってたかって、従事者のほうが多いやろうということもあるしね。だから、人集めのこういうのは発表したから来てくれるという構え方ではだめやとは思うんで。

○西山課長　おかげさまで子育てイベントは今、言いましたように、200人、300人と来ていただいていますので、一度来ていただくと、また来年もあるのかなということで、注意して見ていただいて参加していただいて。

○濱田副議長　だから、来年も再来年とこれからやっていくねんやからね。それはいいんですけど。乳幼児抱えて0歳とか2歳とかいうような年齢は、次の年は3歳になるしね。4歳になる、5歳になって行くからね。ずっと続けて言ったら下からどんどん上がって来てもらわんと。継続してやるとするならね。どういふんか花火みたいにはばーんと一発上げたら終わりやないので。線香花火みたいにはちばちと続くかなこれで。

○三枝委員　実行委員会形式で行われているみたいですが、話し合いを月1回とか、行ってこういう開催になっているわけですか。時代につれてまた新しい意見も出ながらやっていくような形になるんでしょうね。

○西山課長　定期的に同じことをするというのではなくて、その都度ご意見をいただきながらやっていきます。

○三枝委員　これはまた今年刷新されるんでしょうかね。

○西山課長 更新はさせていただくことになっております。毎年更新するのかどうかというのはちょっと検討したいと思っておりますけれども、この3年間は毎年子育ての情報もやはり変化、変更もありますので更新はしています。

○田中議長 他にご意見がないようでしたら、とりあえず今出た意見はまとめまして、また全体のほうに提案させていただきますけれども、まだ他のほうの意見も検討せないけませんので、次に移らせていただいてもいいですか。

それでは子ども体力づくりについてのご意見を再度お伺いしますが、事前に前回小谷さんとか小林さん三枝さんからも意見がございましたが、本日は小谷委員さんからの意見のほうを提出していただいておりますので、小谷さんのほうからご意見お願いいたします。

○小谷委員 今回、夢・授業ということで、取り上げていただいておりますので、去年か一昨年から神路小学校さんが何人かを呼んでやっていたと思うので、そういう感じでこういうふうに各小学校なり、中学校にこれやっていただけるということはすぐ子どもたちにとってもいいことなので、それに加えて各大学生もちょっと呼んでっていうふうなのもいいんじゃないかなって言ったら、こういうアスリートだけではなく、大学からの要請って感じで呼んでもいいんじゃないかなという部分はもっておりますけど。以上です。

○田中議長 先ほど区役所のほうの資料説明で、トップアスリートの方を招聘いたしまして、とりあえず各学校では取り組んでいただいているというようです。全校区じゃなかったんですけれども、洩れているということもあるわけですか。

○鎌塚課長 聞き取りが全部できませんでしたので、聞き取りのできた学校のみだけ今日ちょっとご紹介させていただいて、あくまで抜粋でございます。その後、実施できていない学校も確かにあるんですけれども、それについては先ほど申し上げましたように実施日程が合わないとか、先方との調整がつかないとか、そういったところで断念されたケースもあるにはあるんです。ただ、こういった制度があるんで、今ご

意見をいただきましたように、子どもたちにとって、よいきっかけと夢を与えるきっかけとなってまいりますので、活用促進に向けて学校とも調整を進めてまいりたいと考えております。

○田中議長　他に子どもの体力づくりについて、前回のときに11月8日でしたかね。長居のヤンマースタジアム。あそこで予定をされておるといふふうに区長さんのほうからお聞きしておるんですが、内容はまだ決まっていらないですか。

○鎌塚課長　内容まではちょっと細かいものは決まっていらないですけど。小学校6年生まで対象で、11の小学校皆さん集まっていたいて、そこで協議会というよりも小体連とちょっと合同して教材みたいな形でやりますので、ボール遊びみたいなものがあるとか徒競走だとか、そういった内容だとお聞きしておるんですが、まだ詳しいプログラムとかはちょっとお聞きしておりません。

○田中議長　小学校の校長さんらと連絡取り合いながら、やってはるということですね。また決まりましたら報告をお願いいたします。

○三枝委員　小谷さんからも出てましたよね。体育学部の学生とかっていう話から。

○小谷委員　大体大ができるかどうかわからないですけども、ゼミによっては教育系の学校なんかで、子どもたちに実践も踏まえて協力いただけるようなゼミがないかどうかとか。聞いてみるのは。

○小谷委員　それが子どもたちにもクラスの自分の授業みたいになっている。東中本小学校ではPTAの会長さんが大学の講師をやっておられた関連もあって、その学校の生徒を呼ばれたことがありまして、それで来られたのは授業の一環となるというふうに言われたので無料で見ていただいたっていう。ただ、交通費だけ渡しただけなんですけど、そういうこともできたので。その時にすごく子どもたちが喜んでいたので、そういうのも土曜授業とかで大学生の大学の講師さんや、いろんな大学にお声がけしてみてもどうかかなというのがありますけれど。アスリートだけではなく大学のほうもという。

○鎌塚課長　　ある学校にお聞きすると、OBの先生がいるんですけれどもね。なかなか大学の学生に来て欲しいと思ってもタイミングとか、やっぱり学生さんですので、就職を控えていたりとか授業があったりとか、なかなか日程が合わないという、そんなこともちょっとお聞きしているんですけれども。ただ、今委員のほうからご指摘があったみたいにアスリートだけじゃなしに、もしそういった形で来ていただけるのであれば、学校とも調整、意見交換させていただきながら、活動促進していきたいというふうに思います。

○末光委員　　これ実業団やったらあかんのですか。会社。

○鎌塚課長　　会社ですか。先ほどのトップアスリートですか。

○末光委員　　トップアスリートになるのですか。会社は。

○鎌塚課長　　実業団の方もトップアスリートということで来ていただいています。夢・授業のほうに来ていただいたりしているようですから。あくまで陸上選手であるとか、ソフトボールの選手であっても、実業団に所属されてる選手の方が招聘されて来ていただいております。

○末光委員　　そこまで、トップにいかなくても、会社対抗の何かでクラブチームを作っている会社っていっぱいあると思うんですよ。J1、2じゃなくって、関西リーグとか、大阪リーグとかに所属する上のクラスの選手だったら、それぐらいのことはできると思うんで、そういう選手を呼んでもいいのかなというふうには思いました。

○三枝委員　　ご協力いただける団体の方ご連絡くださいぐらいはしていただいて。

○末光委員　　会社も社会貢献というのもあるのでね。そういうのに来るところもあると思います。うちもサッカー部持っているんですけど、障がい者の方の施設の方を会社に呼んで、そこで日曜日とかサッカーの試合をしたりとかするのは、社会貢献の一環としてやっていますので。

○鎌塚課長　　企業はそういったことあるみたいですね。社会貢献の一環として、地域に対して還元していくことが。

○末光委員　　なので、手を挙げてくる企業もあるのじゃないかなと思いますけれどね。

○鎌塚課長　　多分、その辺のところの方も夢・授業の中で派遣されたっていうふうなこともお聞きしたりとかもしますので、はい。

○森本区長　　区のほうでも企業さんとの連携っていうのは、体力づくりじゃないですけど、いろんな方面でやろうということで、今、一番大きいのは災害時なんですけれども、それ以外でもやってくれませんかっていうところなんです。この前の区民まつりでも銀行さんがお申し出になって、清掃していただいたりしてましたので、できるだけさっき課長が言いましたのは、多分市の事業と重なってしまうと、いろいろと予算的に言うと区のほうが重なっているとされるので、重ならなかつたら今言っていたように貢献で来てくれはるんやったら、それはありがたいことなので。いろんなツールで募集するっていうのはあるので、大いに参考にさせていただきたいなというふうに思います。ひょっとしたら私たちより委員さんのほうがこんなところあるよっていうのがあれば、また言っていたらそういうところをお願いに行ったりするのもいいかと思しますので、お聞かせいただいたらありがたいなと思います。子どもたちに楽しくやってもらうのが一番なので。

○杉原委員　　そういうことからすればね。昔、区民まつりでね。元オリンピックの選手に来てもらったことが何回かありましたよね。バレーボールであるとか。女子のシンクロで。子どもにスポーツに関心を持ってもらうのは実際そういう実技はあいう場所ですから、実際にできなかったんですけども。何年か続けてそういう人を招いた時代があったんですけどね。

○田中議長　　なみはや国体とかね。オリンピックを大阪にとか言うてアピールしたかった時です。

○森本区長　　多分、市の動きとしても、東京オリンピックに向けては東京であるんですけども、オリンピックムードを高めようという動きは多分出てくると思うので、

何かしらひょっととしたら、市のそういう動きに乗ることもできるのかもしれないので、確かに子どもたちの関心が高くなると思いますし。

○杉原委員 関心ね。確かに運動する、スポーツにいろいろ関心を持ってもらえるんわね。少しでもとは思いますがね。

○末光委員 大人のほうに関心を持っているニュース。だってオリンピック選手が来る言うたら。子どもほっといて自分が行きたいので。

○濱田副議長 でもオリンピックはメダルもらわんなあかんもんね。

○杉原委員 3位と4位でもね。えらい違いでしょうし。

○濱田副議長 うちらでも今年は新聞にも書きたい。一つもあれへんみたいな。メダルもらうとね。後の分では水泳であの女の子が行くんじゃないかなと思うんやけどね。だからまだ希望を持っているので。今日も行ってきたけれど、その体力づくりも含めてやったら、陸上やとか、何とかなるって言うてもいろいろの種目でね。これからはテコンドーや空手や、そういう選手も次のオリンピックには可能性あるんやから。

○杉原委員 中本、空手やっていますからね。これはもう地域で別ですけれども。

○濱田副議長 そういうところの空手、合気道でも護身術じゃないけども、受け身みたいなこともね。含めて考えてもろたらできるかなと思って、今、私ちょっと聞いてみたらどうかと思っているけれどね。それやったらただで出てくれって言えるかも。ちょっと自分なりに宿題で聞いておきます。合気道の私、関西の連盟の会長をしているから。だから誰か出てもらえると思うね。

○田中議長 他に子どもさんの体力づくりについてご意見ございませんか。ボール遊びで公園を使わせていただくという先ほど説明ですが、原則中止のほうからだんだん一歩ずつ前進しているようにお聞きしておりますので、また来年度はできるだけやが上にでも使えるような公園を探したいと思います。後、先ほども出ましたが、スマートフォンの危険性を学ぶ学習会も今年度は篠原嘉一さんが講師ですか。また行われるということで。こういう聴く対象というのはあれですか。

- 鎌塚課長 スマートフォンの学習。昨年度の3月にやりましたのははぐくみネットでは…。
- 田中議長 コーディネータと生涯学習の推進員と教職員と書いてある。
- 鎌塚課長 後ろに付けさせていただいているのは、そのときの資料なんです。
- 田中議長 そうですね。
- 鎌塚課長 そのときの講師の方に今年度小中学校6校で挙げていただいたんですけども、6校で学習会をやらせていただこうと思っています。
- 田中議長 規模が広がったのですか。
- 鎌塚課長 はい。
- 濱田副議長 昨年度と言っても、今年の3月やね。今年度いうのは来年の3月までの範囲内で。
- 森本区長 早いのはどこでしたっけ。
- 鎌塚課長 一番早いところで既に一つの中学校は7月に実施をしております、残りの5校については3学期のちょっと実施になってまいりますけれども。
- 濱田副議長 定員が40名くらいでちょっとな。
- 鎌塚課長 これはあくまでこの3月の時のパンフレットですので、今回、今年度私らがやろうとしている学習会のパンフレットではちょっとございませんので、講師の方が同じということでご紹介を。
- 森本区長 やったところは子どもでしたっけ。
- 井上課長代理 中学校は中学生と保護者、教員。
- 田中議長 かなりいいですね。
- 井上課長代理 2回に分けて、合計450名。生徒は生徒で基本的には全員参加しているということです。今回お願いしている先生は要望に応えた形の講義をしますということなので、少人数であれば少人数用の受講も対応できますよということ、この3月29日の開催で実施されたのは、区民センターの6階ですから、せいぜい入っても

40人なんですよね。少なければ少ないほどその人の機器の操作を直接一緒にやったりとかできるので、そういう意味ではまたこういうSNS、今あなたが発信している時点で、あなたが発信している場所が出てしまいますよとか。そういうリアルな話を1対1でやるとかということにも対応していらっしゃるということです。3学期にやろうとしているのが、小学校中心になってきますので、大体30名から80名が対象になってくると思います。

○小谷委員 30名から80名でも子どもと親と別々なんですか。

○井上課長代理 最初、子どもをやって、次、大人がやるというところが基本のパターンで、学校によっては子どもさんだけの時間が、調整できなくて。PTAと教職員だけの学校のパターンもありまして。平日授業でやる場合と、授業でやる場合とでは、それぞれお子さんがプログラムにどんなうまいこと合わせられるかというところで苦慮してまして。

○三枝委員 この北区で行われているような子どもたちに行わせるというような取組みを、そのうち企画いただけたらより一層、子どもたちも参加できるというか、わかりやすいんじゃないかなと思うんですけれども。

○田中議長 北区民センターでやっているのは、区内の小中学校ですね。400名って書いてあるくらいやから。

○鎌塚課長 大阪府の事業でして。

○田中議長 美容師って書いている。高石。そしたら大阪府やね。

○鎌塚課長 府からの学生対象にということ。

○森本区長 旭区は旭区内でしたよね。

○鎌塚課長 それは、旭高校が中心になって取り組んでいます。

○末光委員 大阪府を対象にして北区民センターで。

○小谷委員 学生さんが中心になって、スマホのことを一斉に前に出てやっていただいて、みんなが見に来て、それで新たにスマホのことを知るっていう会議だと思

ます。

○田中議長 ポケモンGOって今1か月くらい経っていますね。あれについて何かご意見がある人はいませんか。先月でしたかね、大阪城に行ったら自転車で走れんくらいポケモンGOをやっている人で、区民体育祭の下見に4時ごろから行ったんですけど。

○末光委員 マナーの問題ですよ。基本的な問題でしょう。ポケモンGOというよりは。

○田中議長 コースが埋まってしまって、押さないと走られませんね。

○濱田副議長 ただうちの隣の地蔵さんが何かスポットらしいんでね。変なあんまり見かけない。昨日、一昨日やったかな。夕方逆行でね、京都ナンバーの自動車が入って来てね。横に乗っている子がやっていたね。通り過ぎて行って一步通行やから逆入ってきたから。対向車に言われてだんだん向き変えて、また帰ってきてちょっと何かやっていたけど。うちの駐車場の横にお地蔵さんがあって、そこが何かポイントや言うて。中本は、玉津橋のところの前にもう一つ。

○田中議長 先月の指導ルームでちょうど始まって、2週間経っていなかったのかな。橋の裏のところに、いつもやったら誰もおらんに20人くらいいました。今月の25日はどうですか。私は行っていません。

○末光委員 最近いないですね。あそこも。

○田中議長 何人かは昼でもやっていたよね。

○濱田副議長 やっている人いるよな。

○末光委員 地下鉄でも通勤のときにおじさん2人が一生懸命取ったポケモンの話をしてはって、難波のあそこにおるから行こうかみたいな話をね、スーツ着たおじさんが話しているわけですわ。

○濱田副議長 こうやってやりながら来て。拝んでると思ったんや。拝んでるんやないねん。よう見たらあれ持っとなねんな。それですーと行きよるねん。スポットが

あるって言われたって、こっちはわからないしね。中学校とかでやめろとかいう話は何かあるんですか。

○大内委員　そうですね。基本的に余り持っていないんですけれども。大分それは進んでいますね。でも通常隠していて、手持ちせずに目的のがあったときにバイブになるので。その場を出してやるので。特に通行時に危ないとか、そういうのはないようです。話は大分やったとは聞いています。

○田中議長　まだ、青少年健全育成についてというテーマでは話し合ったことないんですけれども、今のポケモンGOもどっちかという中高生ぐらい対象に、小学生もしています。

○大内委員　余り聞かないですけど。若干中学生も。

○末光委員　持っている子もやっぱりいますよ。

○田中議長　ここで青少年健全育成に詳しいのは青少年福祉委員の方、校下代表ですねんけれども。今、西野さん本来は青少年福祉委員会の会長ですけれども、今、取り組んでいる大阪府の調査がありますね。有害図書の問題ね。

○末光委員　来ていないですよ。

○田中議長　やっていますよ。年に一遍。

○杉原委員　販売機なくなったんやろか。

○田中議長　自販機は少ないですね。

○末光委員　深江校下にあるって。自販機でビニールに入った。

○田中議長　有害図書ね。

○末光委員　あれ、買ってみないとわからないから買いはるんですかって聞いたんですけど。

○田中議長　どんなものかというので、青少年指導員の時代に何冊か買って持って帰った人がいます。ほとんどがコンビニの展示方法を調査するだけですねんけれどね。大阪府の青少年健全育成条例で調査しているだけで、コンビニもきっちり点検して陳

列されているので、問題あるところは少ない。比較的コンビニ店長さん自体が協力的で、未成年の人の目に届かないようなところに置いておられますね。

○大内委員　有害図書ではもうほとんどスマートフォンに切りかわっているので、図書を手に入れてというのはなくなりましたね。

○田中議長　大阪府からはこういう冊子が出ています。一度見てください。

○濱田副議長　こういう図書は売れんやろな。

○末光委員　わかりませんよ。いつ買っているかわかりませんから。夜中知らん時に買っているのでは。

○田中議長　それは30年くらい前の話では。

○濱田副議長　今、ビニールで包んでいるのは中に入っているもの、切り取られたらいかんから。破られることが結構あるから。そやからビニールで包んでいる。

○田中議長　立ち読みしたらあかんようにね。包装していますね。

○濱田副議長　本屋さんは包装していても破られるって言っている。

○田中議長　大阪府のこういう冊子は、大阪市には全然回ってこないですか。参考に置いておきます。

本日の部会テーマの子育てネットワークと青少年健全育成並びに体力づくりについて、最後にご意見ございましたら、お聞きして終わりたいと思いますがどうですか。三枝委員、どうぞ。

○三枝委員　最後の子どもの生活に関する実態調査。まだ集約ができていないということでしたけど、昨年8月くらいに委員として入ったので、そのときの資料で全国平均、大阪市平均っていう資料だけは割と目にしまして、東成区についてはどうなんだろうと。いつも朝食に関して、東成区はじゃあどうなんだろうというのはいつも気になっていたんですよ。今回もまたそういう調査をするのであれば、きっと区民の数も出るかと思いますが、ぜひ公表をしていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○大内委員 部会ちょっと初めてで、すみません。中学校の立場なんですけれども。今、学校給食、中学校が特に全員給食になりまして、特に食事をきっちりとらなくて、なかなか運動とか、そういうのがないというのがありましたので、朝食も含めてなんです。この9月いっぱい、ちょっと昼の給食を食べて回るようになっておりまして、昨日、今日と食べて給食実態調査を今やっているところなんですけれども。お弁当の給食が学校に届くんですが、そのメニューはしっかりと中身もちゃんと計算されたカロリーとか、塩分とか、作っていただいているんですけれども、結局生徒の残食数っていうのが、お弁当なんで全然掌握ができていません。どれくらい食べて、どれくらい残ってるのかを確認したくて、今ちょっとやっているんですけれども、各ご飯なんですけれども、牛乳が前についているんです。1年生を見ると小学校の流れからほとんど飲んでるんですけれども、34名クラスの中で毎回20人くらいは牛乳を飲まないでそのまま返しています。お弁当の中身、僕も食べて味は割とおいしいんですが、残食をずっと見ていると半分以上が残ってしまっていて、今日なんか特に水泳大会があった後なので、お腹がすいているはずなんですけど、ほとんどお弁当を食べずに、昼食をとらずに、午後の授業に出て部活動に出ているっていうのが、今の現実ではないかなという状況なんです。もう少しちょっと調べて、また部会に報告をさせていただきたいと思うんですけれども。ちょっと食事という朝食も含めてなんですけど、なかなか食べることができていない。中学生が特にそうなんですけれども、多いのではないかなと。現状の給食ではそんな感じがしていますので、もう少しそこを突っ込んで調べて、またご報告をさせていただきたいと思います。給食自体の味はおいしかったですけれども、子どもたちがそれを食べない。ほとんど残している。おかずがそのまま残って帰って来るとか。

○小谷委員 最初から始まった時のイメージが強くて、でも今年から大分おいしくなっているんですよ。全然容器もかえたりして改善してくれはったんですけれども、やっぱり最初のイメージが強いというのがあって、特に女の子は全然受け付けられない。ふり

かけを持ってきてもいいとか言って、ご飯を食べさせようとはしているんですけど、なかなか最初のイメージっていうのがあったりしたので。格好悪いと思うのかもしれないですしね。

○三枝委員　あれだけ問題あったことやし。食べないことのほうが格好いいのかもしれないと思っているのかも。

○大内委員　インターネットかそんなので、給食のものにいろんなものが入っていると。本当かどうかはわからないんですけども、いろんなものが入っていたとか、こんな形で作られているとかっていう、悪いイメージの映像とかたくさん流れるんですよ。そんなんやっぱり見ると、お弁当を開けたとしてもそれは食べられない。朝食も食べて来ない子が昼ご飯も食べない。それでクラブまでやってくたくたになって学校帰って食べると。それでは体力がつくわけがない。授業も学力も向上するはずがないというところもあって、今ちょっと給食も調査させていただいているんですけども。各中学校、東陽中学校だけしか見てないです。各中学校大体同じような感じであるようです。ほとんど残っているというのが牛乳。今日はオレンジジュースっていうのがついていたんですけども、それは飲んでいたみたいなんです。牛乳とお茶パックがあったらどっちを飲むかって聞いたら、お茶、絶対お茶を飲むと。牛乳はご飯と合わないっていうふうに言っている子もあります。

○田中議長　ここの調査項目にもありますね。朝食、夕食、昼食というね。質問のね。内容がちょっとわかりませんが。今の子どもの正確な実態調査というのは、答えが出てからまた検討していきたいですね。

○森本区長　並行して、実施機関というか、そういうことにかかわっている、例えば地域でかかわっていただいている方であるとか、民生委員さんとか、いろいろお聞きして、その方たちのアンケートを参考にしたいなというふうに思っています。

○田中議長　アレルギーのある方はどうされているんですか。家から弁当ということですか。

- 大内委員 自分で何か持ってくる形をとっていますね。
- 田中議長 そういう方は絶対食べますわね。
- 小谷委員 アレルギーなしのおやつがあるんです。
- 大内委員 子どものアレルギーで止めているっていう生徒は少ないですね。
- 田中議長 中学生になったらなくなるのかな。アレルギーはずっと一緒ですか。
- 末光委員 一緒ですね。
- 三枝委員 乳製品なんかは小学校くらいで抜けると言われていますけどね。でも深刻なそばとかはずっと持ち越すと。
- 末光委員 牛乳がいいという時代はもう終わっているいかもしれないですね。牛乳を飲む牛の餌には抗生物質が入っていたりとか。添加物が入ったものを食べている牛からダイレクトに出てくるものなので、それダイレクトじゃないですか。一説には牛乳はいかんという説もありますし、だから牛乳をずっと子どもに昔の慣習に合わせて出すこともどうなのかなみたいな。私は反対にお茶のほうが安心と違うかなと思いますけれど。
- 小谷委員 多分、それでカルシウムを取るって言われて、栄養素の問題があるんじゃないかなと思うのですが、それでふりかけつけたんですよ。
- 田中議長 橋下市長のとき、ふりかけどうのこうのって。
- 大内委員 多分お茶だと大丈夫ですね。どうも今日の残りぐあいを見て愕然としました。
- 末光委員 給食をどうやって作られた映像を見たかどうかなんですけど、他のもの、お菓子とか、ふりかけにも添加物はいっぱい入っていますし、何が良いか、悪いかの情報を正しく伝えてあげないと、お母さんの食べているものが一番良いとは限りませんよね。買って来たものを与えとったら、そこにも入っているし。一から作ったのかというと、作っていませんというのもあると思うんですよ。
- 田中議長 スーパーで、でき合いの物を買って来たら一緒やもんね。

○末光委員　それも全部添加物が入っていますからね。

○大内委員　味がおいしいんですよ。僕らがおいしく感じるので。かなり塩分が多いはずなんですけれど。確認書見たらちょっと薄いかなと思ったんですけども、全然そんな感じじゃない。

○末光委員　食育にも関係することやと思いますけれど、じゃがりこもね、一つ食べちゃうと、大人の取る塩分以上に取ってしまう。お母さんが与えていますからね。油も超えている。塩分も超えているというのは自分のかわいらしい子どもにもかかわらず、親が成人病予備軍の子どもを作ってるようなものですからね。子どもの時に、その味、覚えてしまいますからね。辛いもんしか食べないとかになってくると、やっぱり親の与える食事が大事やし、学校もそうですしね。

○田中議長　ありがとうございます。他に何か。まだ5分ほど。ないようでしたら、本日出ました意見を区政運営の参考としまして、今後の予算や運営方針等に反映できるものは区役所でしっかりと検討を進めていただきたいと思います。

それでは、本日の議題は以上で終了いたしまして、区役所のほうに進行をお返しします。議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。お願いいたします。

○中須賀課長　スムーズな議事進行にご協力いただきまして、ありがとうございます。本日皆様方からいただきましたご意見につきましては、今後の区政運営、来年度の予算、運営方針等の策定に当たりまして、参考にさせていただきたいと思っております。

これをもちまして、第2回子ども・教育部会を終了させていただきます。

ありがとうございました。